

IMAGINE
ROTARY

WEEKLY REPORT No.1595

＜本年度クラブ会長方針＞
ロータリーライフを楽しみ、
クラブの持続的成長を図ろう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 加藤巳千彦 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
幹事 吉田憲一 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1869回例会

地域社会の経済発展月間
令和4年10月20日(木)
外部卓話
米山月間

出席計算数 会員57名
53名中42名出席
出席率 79.25%
前々回出席率 86.75%
54.25%

★例会プログラム

★ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー表彰
・バッジの進呈
★外部卓話

ロータリーソング

「我らの生業」 (歌唱なし)

ゲスト

名古屋地方気象台
台長 中三川 浩さん

二コボックス

名古屋地方気象台 台長 中三川浩さん、本日の卓話よろしくお願ひします。加藤巳千彦・吉田 憲一
藤田 澈・横井 衛

ヒルウォーキングクラブ、八丈島の二山 登頂成功です。全員無事島帰ります。隊長・尾上 昇
中三川さん、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。鬼頭 茂成

卓話楽しみです。川合 美幸
深谷 昭広

中三川様、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。松岡 毅
ハワイから帰国の際、成田経由がオーバーブックで羽田経由に協力しました。おかげさまで二人で600ドルいただきました。

頸椎症性神経根症にかなり、毎日毎日が試練です。夜眠れない。過去に過ちをしたのかなあ。岡田 尚彦
ヒルウォーキングの皆様ご利用ありがとうございます。

尾上さん、前田さん、南の島お世話になりました。高木 政義
尾上さん、前田さん、八丈島ヒルウォーキングありがとうございました。岡村 隆徳
誕生月です。大原 敏正
母の誕生月です。大西 壮
本日、祖母の誕生月です。内藤 啓喜

会長挨拶

皆さん、こんにちは。本日のゲスト、ピジターの紹介をさせていただきます。本日のゲストは、鬼頭茂成さんの紹介でお越しいただきました名古屋地方気象台 台長の中三川浩さんです。中三川浩さんには、本日13時より卓話をお願い

いしております。宜しくお願い致します。さて、本日10月20日はリサイクルの日と言われています。10が一回り、20が二回りということの語呂合わせで、日本リサイクルネットワーク会議が1999年(平成二年)に制定しました。

毎年10月は環境省と経済産業省などが呼び掛けて、「リデュース・リユース・リサイクル」推進月間となっております。このリデュース・リユース・リサイクルの英語の頭文字をとって、3R推進月間とも呼ばれています。

「リデュース」は「減らす」ということば、「リユース」を減らすという意味を指しています。使っている洗剤やシャンプーなどがなくなったとき、容器そのものを買い替えるのではなく詰め替え用のものを買い、前の容器を使うことで「リユース」は減ります。

また「リユース」はものを繰り返し使うことです。使わなくなったおもちゃや着なくなった服をフリーマーケットやバザーなどでほしい方に譲って使うのもいいことです。

「リサイクル」は再び資源として利用することです。ペ

ットボトルや紙、プラスチックはそれぞれ分別して「リユース」に出します。そうすることで、もう一度資源として使えるように処理してもらえます。

このようなるR活動の目的は資源を大切にすることです。「リユース」を減らすことで、「リユース」を燃やすなどして処理する時に使うエネルギーを減らし、地球温暖化を防ぎ、環境を守るためです。ですから、本来は今日だけではなく、いつでも3R活動に取り組みることが大切なのです。

我々一人ひとりが取り組めることはたくさんあります。「リユース」の分別を丁寧に行ったり、食事を残さず食べることも一つあります。環境保全のために、このようなおことができるのか、この機会に考えてみてはいかがでしょうか。

今日も一日、皆が笑顔で楽しく過ごせますように。ご清聴ありがとうございました。

10月20日「リサイクルの日」

卓話

「気象庁の業務紹介」
名古屋地方気象台

台長 中三川浩さん
気象庁では、天気予報や注意報・警報発表といったテレビ等でおなじみの業務のほかにも、様々

な業務を行っている。この機会に、あまの知られていない部分を改めて、紹介させていただきます。

1. 気象庁の任務

気象庁の使命は、気象業務の健全な発達を図ることにより、災害の予防、交通安全の確保、産業の隆興等公共の福祉の増進に寄与することである。そのため、産学官や国際連携のもと、最新の科学技術を取り入れ、観測予報の技術開発を推進する取組、社会の様々な場面での気象情報やデータの活用を促進する取組を行っている。

2. 気象庁の組織

企画や技術開発等の多くは東京の本庁で行っている。札幌、仙台、東京大阪福岡には管区気象台を、那覇には沖縄気象台を置き、広域的な気象、地震、海洋等の観測・監視、予報・警報等の情報提供を行っている。各道府県には地方気象台を置き、道府県単位以下のきめ細かな情報発表や解説を行っている。また、航空機の安全運航のため、



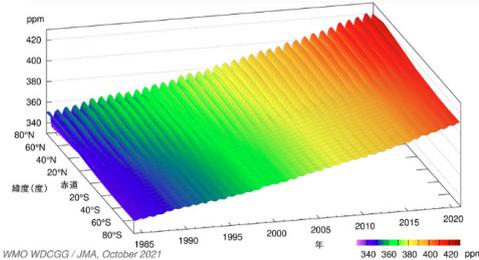
め、主な空港に航空地方気象台等を置いていく。さらに、気象業務を支える研究、人材育成等のため、気象研究所、気象入学校等を置いている。

3. 気象庁の業務

気象庁では、①気象観測、②気象の監視・予報・伝達、③地震・津波・火山の監視、④地球環境の監視、⑤航空機・船舶向け情報の提供、⑥国際貢献、⑦気象業務高度化のための研究・技術開発等様々な業務を実施している。近年は、⑧気象データの産業での活用を促進し、産業振興に資する取組も推進している。以下、④と⑧を例として紹介する。

4. 地球環境の監視

地球温暖化やオゾン層破壊などに関する監視を行うとともに、それに必要となるオゾンや温室効果ガスの観測、海洋の海水温や二酸化炭素濃度などの観測も実施している（図は1985年以降の二酸化炭素濃度の緯度別変化）。



WMO WDCGG / JMA, October 2021

暖化の将来予測も行っている。

5. 気象データの産業での活用

産学官連携で気象ビジネスの創出を目指し、「気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)」が平成29年に設立された(事務局は気象庁)。

本コンソーシアムでは、気象ビジネスに関する講演・議論等が行われる「気象ビジネスフォーラム」、気象データや活用事例を学ぶ「WXBCセミナー」(写真)、「ビジネスパートナー発見のための「マッチングイベント」」等が実施されている。

なお、入会費・年会費は無料である。



6. 名古屋地方気象台の組織と業務

名古屋千種区に所在し、来年1月で現地業務開始100年となる(写真:庁舎も100年)。

65名の職員が、東海4県の気象予報、愛知県内の気象観測や防災気象情報作成を行うとともに、アマダス等気象観測施設の保守、気象・地震火山・海洋などの解説を行っている。



ている。また、平時から自治体や防災関係機関との連携を強化し、大規模な災害が予見される・発生した場合には、J-ERTと呼び支援チームを組織し、現地災害対策本部での気象解説等を実施している。

7. やすじ

気象庁ホームページには、気象・観測・地震・火山・地球環境等に関する様々な情報が掲載され、リアルタイムで更新されている。

これを機に、気象庁ホームページをご覧いただき、普段の生活やビジネスでの天気予報や気象データの活用のほか、大雨時や台風接近時等いざというときに、防災に役立てていただければ幸いです。

ロータリー財団PDF表彰

表彰の進捗

ハッジの進捗

・マルチプル・ポール
ハリス・フェロー

・マルチプル
ポール・ハリス・フェロー

ロータリー財団よりマルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証バッジが贈られ、加藤巳千彦会長より手渡されました。寄付を頂きありがとうございます。

・マルチプル
ポール・ハリス・フェロー
ポール・ハリス・フェローになった後追加寄付をしてフェロー回数(米貨1,000ドル毎)を重ねた人。



11月3日(木) 例会の案内
法定休日(文化の日)

11月10日(木) 例会の案内
例会変更 地区大会第2日目
大会第2日目 11月13日(日)
於 愛知県国際展示場
Aichi Sky Expo

友愛の広場・常滑マルシェ・受付
11時30分
OPアフタフション 12時50分
本会議 13時00分 16時30分
記念講演 内山田竹志氏
13時45分 14時50分
「トヨタ自動車株式会社取締役会」

公共イメージ向上委員会
木村 光徳・近藤宏一郎
荻原 賢一・藤田 徹
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。